

一向寺 檀信徒会館庫裏建立趣意書

檀信徒の皆様方に於かれましては平素一向寺興隆の為多大なる御協力を賜り厚く御礼申し上げます。又この度檀信徒会館庫裏建立の為一方ならぬお世話頂き誠に有難うございます。先般御施餓鬼会に於きまして御説明申し上げました通り、当山庫裏は戦後建立され今日まで約五十年以上風雪に耐えて参りましたが、一昨年 of 東日本大震災に於いて柱壁の亀裂等耐震劣化著しく、合わせて檀信徒の皆様方に利用頂く為の待合室等寺院施設を充足すべく役員会にて検討いたしました処建立すべきことと結論に至りました。

そこで平成二十四年二月十一日総代世話人会に於きまして準備委員会を設立発足し、幾度か他寺院の見学等を行い当山にふさわしい計画立案を考えて参りましたが平成二十四年九月十六日建設委員会が発足し基本的な建設方針が決定され、十月十一日役員会にて承認を受けました。

元祖法然上人御遺訓一枚起請文「ただ一向に念仏すべし」の御教えを拝受し、檀信徒の皆様方と共に弥陀の名号をお唱えする当山が未来永劫更に興隆致しますよう計画されました事業でございます。檀信徒の皆様方に於かれましては以上の趣意を十分ご理解を頂きまして格別の御尽力を賜りますよう伏してお願い申し上げます。

合掌

平成二十五年三月吉日

浄土宗東福山専修院一向寺 住職 東 好章

建設委員長 入澤 成行

// 副委員長 岡部 正英

同建設委員 一同